

***SWEEP***

[無料公開用 抜粋版]  
**Climate Tech:  
Quarterly Trend Report**

**2023Q4**



# 本レポートの位置づけ

無料公開用は  
Quarterly Trend Report  
の一部を抜粋したもの

発行レポート

Weekly Flash Report

Monthly Highlight Report

Quarterly Trend Report

レポートで  
得られること

1週間における調達実績の確認と、注目すべきスタートアップのビジネス内容の分析結果を踏まえ、Insightとして自社ビジネスに活かすべき点を簡潔に把握できる

週次レポートの積み上げとして、注目すべきハイライトを効率的に把握できる。また、注目すべき分野におけるスタートアップのユニークネスやビジネスモデル分析を把握できる

四半期の調達動向や推移を確認できる。また、四半期における調達動向が盛んな分野の深掘り分析や、主要なトピックを学べ、更に自社ビジネスに活かせる有望な事業機会の情報を得られる

レポートの  
コンテンツ

- Weekly Update
- 調達実績
- 注目スタートアップ分析
- 主要トピック解説
- Weekly Insight

- 月次アップデート
- 資金調達実績トレンド
- 注目分野のスタートアップ分析

- Quarterly Update
- 資金調達実績トレンド
- 注目分野の深掘り分析
- ターゲット大企業の投資動向分析
- 四半期主要トピック解説
- 有望な事業機会に関する考察
- Quarterly Insight

\*Source: 各種データベース + 公開情報より弊社作成

# 構成

■ エグゼクティブサマリ	4
■ クライメートテック業界の分野一覧	5
■ クライメートテック業界の資金調達実績： 全体トレンド	6
■ クライメートテック業界の資金調達実績： ターゲットVC動向の分析	8
■ 注目分野のスタートアップ事例	
- Coperniq	9
- Fourth Power	10
- Electric Hydrogen	11
- Carbo Culture	12
■ ターゲット大企業の投資動向	13
■ お問い合わせ先	18

# エグゼクティブサマリ

## クライメートテック業界の資金調達実績：全体トレンド

対象Qでのクライメートテック業界における世界での調達額は\$5.82B。うち、カーボン&エミッションテックは\$1.62B（28%）、クリーンエネルギーは\$4.20B（72%）とクリーンエネルギーの割合が大きい  
対象Qの調達額\$5.82Bのうち、再生可能エネルギー（間欠性）の割合が大きい（33%）。前Qの\$11.61Bからは減少している（▲50%）

## クライメートテック業界の資金調達実績：ターゲットVC動向の分析

調達金額の分野別構成比で見ると、クリーン燃料、再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギーは、全体の動向と比較しターゲットVCが投資家として関与した割合が高い。一方、再生可能エネルギー（間欠性）、蓄エネルギー・送エネルギーは、全体の動向と比較しターゲットVCが投資家として関与した割合が低い

## 注目分野のスタートアップ事例

再生可能エネルギー（間欠性）：Coperniqは、再エネEPC向けのソフトウェアプラットフォームを提供する

蓄エネルギー・送エネルギー：Fourth Powerは、余剰な再エネ電力を蓄え必要時に給電する熱蓄電システムを提供する

クリーン燃料：Electric Hydrogenは、グリーン水素製造のためのPEM型の電解装置を提供する

カーボンテック：Carbo Cultureは、バイオ炭を利用した炭素除去ソリューションを提供する

## ターゲット大企業の投資動向

対象Qでは、BP、Saudi Aramco、Chevron、Amazon、Siemens、Google、Microsoftの関連企業が投資している

注：本レポートにおけるクライメートテックの対象分野に含まれないものとして、農業系、食品系、輸送系（EV等）がある。これらはそれぞれで相応の大きさのマーケットを持つため、本レポートとは別に取り扱う予定である

# クライメートテック業界の分野一覧

大分野	中分野	中分野定義	企業例
<b>A. カーボン&amp;エミッションテック</b>  二酸化炭素含む温室効果ガス排出の削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	A-1. カーボンテック	二酸化炭素の回収・貯留（CCS）および炭素の利用（CCU）に関連する技術・サービスや企業向け/個人向けに二酸化炭素排出のトラッキング・削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	
	A-2. 産業系技術	リサイクルを含む製造業の各プロセスにおいて、環境配慮型の素材生産や製品製造での効率的なエネルギー利用・二酸化炭素排出削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	
	A-3. 構築環境	建物や生活インフラの建設時、およびそれらの使用時における環境負荷の低減・エネルギー利用の効率化に関連する技術・サービスを提供する企業	
	A-4. 環境データベース	生態系の保全、気候や地球のモニタリングのためのデータを収集・公開するための技術・サービスを提供する企業	
<b>B. クリーンエネルギー</b>  環境負荷の小さいエネルギー源やエネルギー利用のためのインフラに関する技術・サービスを提供する企業	B-1. 再生可能エネルギー（間欠性）	再生可能エネルギーのうち、自然の状況に応じて出力が変動するもの（風力・太陽光・太陽熱）に関する技術・サービスを提供する企業	
	B-2. 再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギー	再生可能エネルギーのうち出力が安定しているものや（地熱・水力）、核分裂/融合などの環境負荷の小さいエネルギーに関する技術・サービスを提供する企業	
	B-3. クリーン燃料	既存の燃料と比較して環境負荷の小さい燃料や、環境負荷の小さいグリーン/ブルー水素に関する技術・サービスを提供する企業	
	B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー	蓄電池や電気以外の形（例：蓄熱や位置エネルギー）でのエネルギー貯蔵や、エネルギー伝達（例：送配電網）に関する技術・サービスを提供する企業	

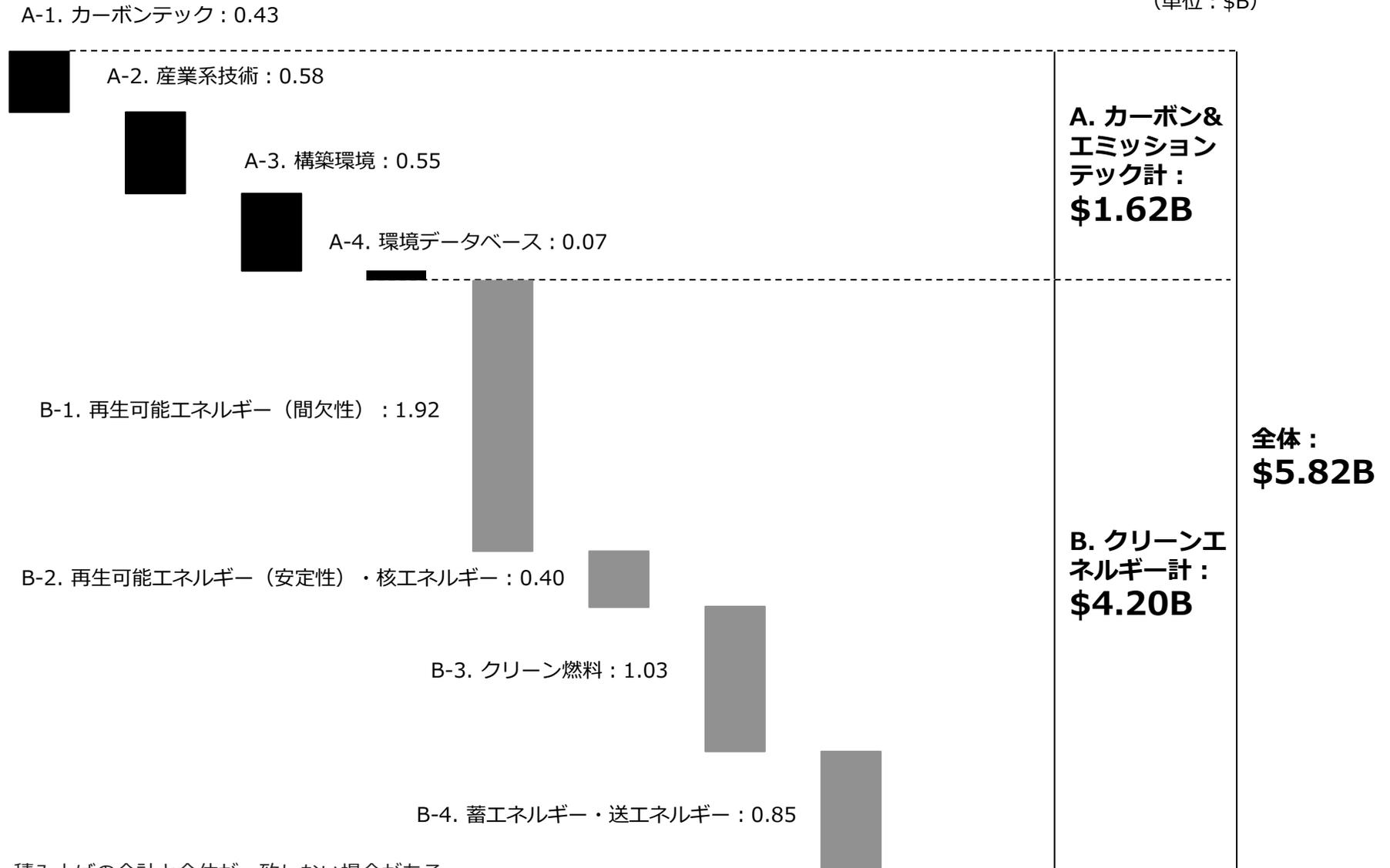
注：本レポートにおけるクライメートテックの対象分野に含まれないものとして、農業系、食品系、輸送系（EV等）がある。これらはそれぞれで相応の大きさのマーケットを持つため、本レポートとは別に取り扱う予定である

# クライメートテック業界の資金調達実績：全体トレンド（対象Q調達額）

対象Qでのクライメートテック業界における世界での調達額は\$5.82B

うち、カーボン&エミッションテック\$1.62B、クリーンエネルギー\$4.20Bとクリーンエネルギーの割合が多い

(単位：\$B)



注：個別の分野は四捨五入処理を行っているため、積み上げの合計と全体が一致しない場合がある

# クライメートテック業界の資金調達実績：全体トレンド

対象Qの投資額は\$5.82Bであり再生可能エネルギー（間欠性）の割合が大きい。前Qの\$11.61Bから減少

カーボン&エミッションテックでは、中分野別に見て、全体としては減少トレンドであるも、環境データベースは前Qに比べ調達額が増加

一方で、クリーンテックでは全体としては減少トレンドであるも、クリーン燃料は前Qに比べ調達額が増加

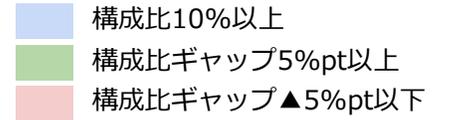
大分野	中分野	調達額			対象Qにおける1社あたり調達額		対象Q構成比
		前Qと対象Qにおける調達額 [\$B]			対象Qにおける1社あたり調達額		
		前Q	対象Q	変化	調達社数 [社]	1社あたり調達額 [\$M/社]	
A. カーボン&エミッションテック	A-1. カーボンテック	0.73B	0.43B	↓	48	8.88M	7%
	A-2. 産業系技術	1.97B	0.58B	↓	64	9.02M	10%
	A-3. 構築環境	2.84B	0.55B	↓	52	10.59M	9%
	A-4. 環境データベース	0.06B	0.07B	↑	14	4.83M	1%
B. クリーンテック	B-1. 再生可能エネルギー（間欠性）	3.40B	1.92B	↓	44	43.64M	33%
	B-2. 再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギー	0.42B	0.40B	↓	7	57.23M	7%
	B-3. クリーン燃料	0.35B	1.03B	↑	21	49.08M	18%
	B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー	1.83B	0.85B	↓	49	17.25M	15%
		<b>\$11.61B</b>	<b>\$5.82B</b>	↓	<b>299</b>	<b>\$19.46M</b> (平均)	<b>100%</b>

注：個別の分野は四捨五入処理を行っているため、積み上げの合計と全体が一致しない場合がある

# クライメートテック業界の資金調達実績：ターゲットVC動向の分析

クリーン燃料及び再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギーは、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が高い

一方、再生可能エネルギー（間欠性）及び蓄エネルギー・送エネルギーは、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が低い



大分野	中分野	ターゲットVCが投資家として関与した案件		全案件 構成比 (b)	構成比ギャップ 構成比 (a-b)
		対象Qにおける調達額 [\$M]	構成比 (a)		
A. カーボン&エミッションテック	A-1. カーボンテック	67M	10%	7%	2%pt
	A-2. 産業系技術	20M	3%	10%	▲7%pt
	A-3. 構築環境	37M	5%	9%	▲4%pt
	A-4. 環境データベース	15M	2%	1%	1%pt
B. クリーンテック	B-1. 再生可能エネルギー（間欠性）	0M	0%	33%	▲33%pt
	B-2. 再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギー	132M	19%	7%	12%pt
	B-3. クリーン燃料	388M	56%	18%	38%pt
	B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー	41M	6%	15%	▲9%pt
		<b>\$699M</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	

# 注目分野のスタートアップ事例① : Coperniq

B-1. 再生可能エネルギー（間欠性）  
20. 太陽光

## 会社名

Coperniq



## 設立年

2019年

## 本社所在地

アメリカ・カリフォルニア

## 累計調達額

\$4.5M

## 対象Qの調達額

\$4.0M

## 対象Q調達の主要投資家

Y Combinator, Initialized Capital

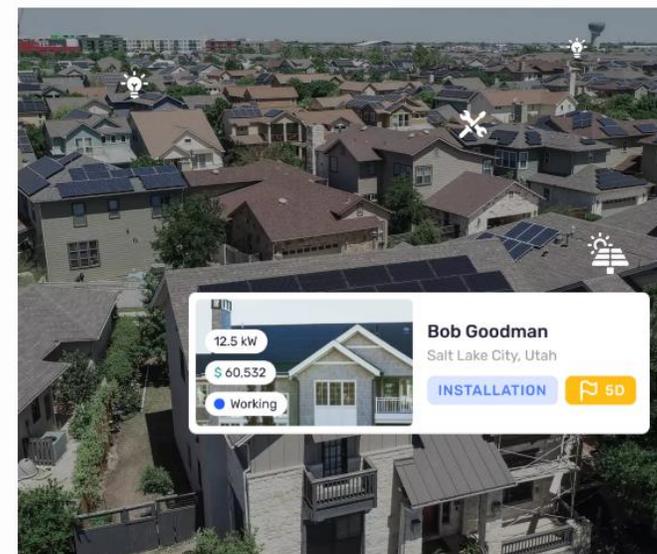
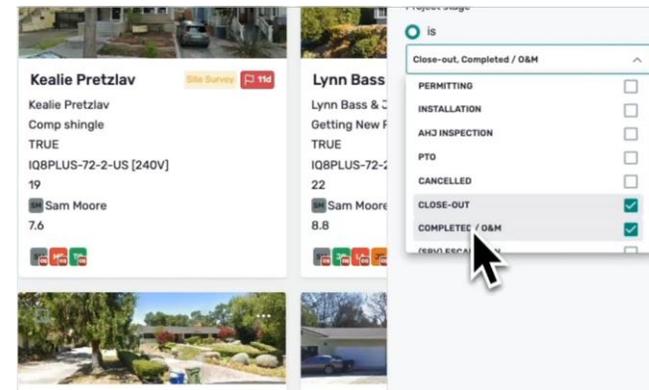
## 事業内容

### 会社概要

- Coperniqは、太陽光発電EPC事業者向けのワークフローソフトウェアプラットフォーム（プロジェクト管理ツール・フィールドサービス管理ツール等が含まれる）を提供する企業。EPC事業者はプラットフォーム使用し、プロジェクト管理、現場とオフィスの連携、顧客管理、財務管理、在庫管理などを一元化して実施することが可能になる

### ビジネス内容

- プロジェクトごとのソフトウェア利用料金は住宅用（8-10kW）では\$180程度、事業用（0.5-1.5MW）では\$500程度で、それらの積み上げ一括支払いで請求される
- プロジェクト管理ツール：タスク管理、スケジュール調整、進捗報告などが含まれ、プロジェクトの進行状況をリアルタイムで把握し、効率的なリソース配分や生産性向上が可能となる
- フィールドサービス管理ツール：現場とオフィス間でリアルタイムで情報を共有する。現場の作業員が必要なデータや指示を迅速に受け取ることができ、効率的な作業が可能になる
- ツールを利用することによって、以下の効果が得られる
  - プロジェクト工期短縮（全体の30%相当の45日の削減）
  - EPC社員の労働時間の短縮（オフィスワーカー：17時間/週短縮、フィールドワーカー：12時間/週短縮）
  - 太陽光パネルの設置コスト削減：全体コストの17%相当の\$3,000削減（ワットあたりは\$2.80から\$2.30へ低減）
  - ユーザー企業の同業他社への本サービス紹介率向上：31%に向上（平均的な競合サービスでは16%）



# 注目分野のスタートアップ事例②：Fourth Power

B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー  
31. 蓄電池以外のエネルギー貯蔵

## 会社名

Fourth Power



## 設立年

2021年

## 本社所在地

アメリカ・マサチューセッツ

## 累計調達額

\$19.0M

## 対象Qの調達額

\$60.0M

## 対象Q調達の主要投資家

Breakthrough Energy Ventures, DCVC, Black Venture Capital Consortium

## 事業内容

### 会社概要

- Fourth Powerは、グリッドオペレーター向けに、電気エネルギーを熱に変換し蓄え、必要な時にTPV発電（熱光起電力発電）によって高温体からの輻射光で発電する大規模熱電池システム（50m×50m程度）を提供する
- 材料の95%以上がグラファイト（発熱/発電用ヒーター、蓄熱材、配管）、熱伝達用の導体には液体スズを使っており安価。給電時のコストは天然ガス火力発電並みを謳う

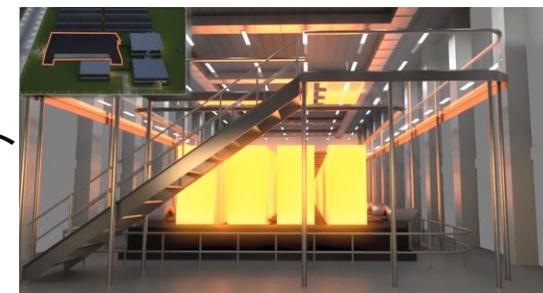
### ビジネス内容

- 熱電池を運用するグリッドオペレーター向けに、再エネの余剰電力を熱として蓄え、必要時に電気に戻しグリッドに供給する熱電池を提供し、トータルのエネルギーコストを低減する
- Fourth Powerの熱電池は以下の特徴を持つ
  - 低コスト： kWh-eあたりコスト（エネルギー損失の他、装置購入・設置・運用・保守費用を含む）は、リチウムイオン電池が\$330/kWhに対し、本熱電池が\$25/kWhと1/10未満
  - 柔軟な対応時間： エネルギー貯蔵について、5~500時間のレンジで対応可能であり、短期から長期の柔軟に対応できる
  - 迅速性： 送電指令から数秒以内に給電可能
  - 高効率： 最高温度2400℃と高いため、エネルギー密度も高く熱光起電力（熱から電気への変換）の効率は41~50%。同サイズの他社機器と比較して10~100倍の効率
  - 安全性・耐久性： アルゴンガスで酸化を防いでいるため、爆発のリスクがなく、30年以上の耐用年数を持つ

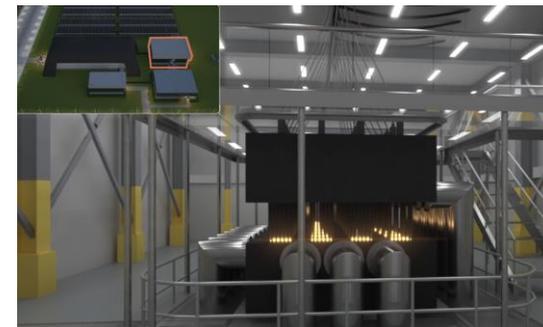
電気から熱への変換用ヒーター



蓄熱用グラファイトブロック



TPV発電セル



# 注目分野のスタートアップ事例③ : Electric Hydrogen

B-3. クリーン燃料  
26. 水素

## 会社名

Electric  
Hydrogen



## 設立年

2020年

## 本社所在地

アメリカ・マサチューセッツ

## 累計調達額

\$798.3M

## 対象Qの調達額

\$380.0M

## 対象Q調達の主要投資家

BP Ventures, HSBC, US Department of Energy, Trinity Capital, Fortescue Metals, Fifth Wall, Energy Impact Partners, Breakthrough Energy Ventures, Climate Pledge Fund, etc.

## 事業内容

### 会社概要

- Electric Hydrogen (EH2) は、再生可能エネルギーを使用して水を分解しグリーン水素を生成する、最大100MW規模のプロトン交換膜 (PEM) 方式の大規模水電解装置プラント (敷地面積 6,000m<sup>2</sup>) を提供する (100MWプラントは2024年中に建設予定)
- 電解槽以外の周辺機器 (電源、純水装置、ガス分離装置、熱管理システム) も組み込まれており、建設/運用コストの低減を謳う

### ビジネス内容

- 製造業におけるアンモニア/メタノール製造プロセスや鋳業/製鉄の金属処理におけるグレー水素の置き換え、発電事業者の燃料である天然ガスへの水素混合による脱炭素化を支援するため、水電解装置プラントを提供する
- EH2の電解装置は以下の特徴を持つ
  - 大規模：電解装置は100MW規模であり、他社の電解装置 (1-20MW程度) と比較し大規模生産が可能である (1日 45tの水素を製造可能)
  - 周辺機器一体化による低コスト：100MWプラントを建設する際のコストは\$75Mであり、シーメンスやティッセンクルップの\$150Mはおろか、中国製の\$85Mよりも安価
  - 建設期間の短縮：他社の電解装置は建設に6カ月程期間を要するが、EH2の電解装置は半分の約3カ月で済む

10MW  
プラント



スタック製造  
のギガファク  
トリー



# 注目分野のスタートアップ事例④ : Carbo Culture

## A-1. カーボンテック 3. 生物的炭素除去

### 会社名

Carbo  
Culture



### 設立年

2016年

### 本社所在地

フィンランド・ヘルシンキ

### 累計調達額

\$27.5M

### 対象Qの調達額

\$18.0M

### 対象Q調達の主要投資家

True Ventures, GenZero, Alumni Ventures, European Innovation Council, Cherry Ventures, Lifeline Ventures, Wave Ventures

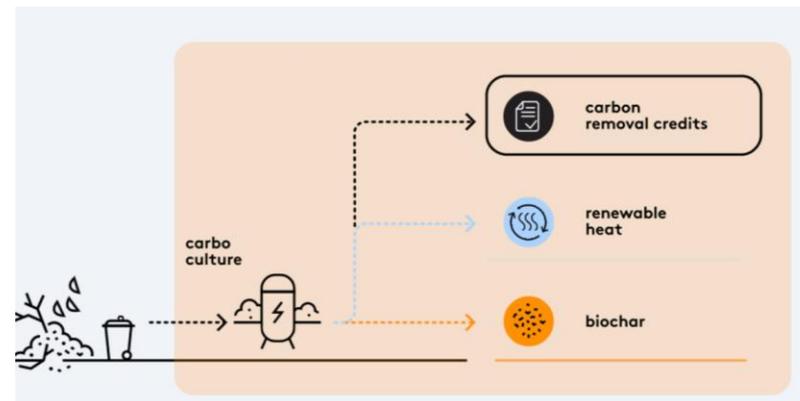
### 事業内容

#### 会社概要

- Carbo Cultureは、植物由来の廃棄バイオマスを生炭(Biochar)に変換する事で、炭素除去を行うソリューションを提供する。バイオ炭は土壌改良(多孔質のため栄養や水保全が可能)やセメントなど耐久性のある材料に使用される
- 同社の特許取得済のバイオ炭製造プロセスCarbolysisは、副生成物として合成ガス(シンガスとも呼ばれる一酸化炭素と水素の混合ガス)を製造し、再生可能エネルギー源として利用できる
- 2026年に商用C1プラントを運転開始予定で、年間2万tの二酸化炭素除去が可能となる(現状の試験プラントR3では3,000t)

#### ビジネス内容

- バイオマスを原料にし、①貯留炭素をクレジット化する、②余剰熱を再生可能エネルギーとして活用できる、③バイオ炭を利用する事業者に対して、バイオ炭製造プラントを提供する
- バイオ炭製造プロセスCarbolysisは以下の特徴を持つ
  - 高効率: 同社のバイオ炭は多くの炭素を含み(91%以上。一般的には40%)、1tのバイオ炭で3.1tのCO<sub>2</sub>に相当する炭素を閉じ込めている。また、反応で生じる熱や合成ガスのエネルギーは、1tのバイオマスで2.38MWhとなる
  - 自己完結型: 一般的なバイオ炭製造は熱吸収反応であり外部からの熱を必要とするのに対し、Carbolysisは発熱反応であるため運用コストが低い(反応開始に必要な熱量は、発熱反応に対して2%のみ)。他製法よりも60%多くの熱が得られ、反応に使用しない余剰熱は外部への熱源として利用可能
  - 無毒性: プロセスでタールを生成しないため毒性が無い



# ターゲット大企業の投資動向（1/2）

業界	ターゲット大企業	対象Qの投資件数	対象Qの主要投資内容	
エネルギー業界	TotalEnergies	0件		
	ExxonMobil	0件		
	BP	2件	● B-2. 再生可能エネルギー（安定性）・核エネルギー ● B-3. クリーン燃料	: Eavor : Electric Hydrogen
	Saudi Aramco	1件	● A-1. カーボンテック	: Redex
	Chevron	2件	● B-3. クリーン燃料 ● B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー	: Ionomr : Malta
小売業界	Walmart	0件		
	Amazon	1件	● B-3. クリーン燃料	: Electric Hydrogen

# ターゲット大企業の投資動向（2/2）

業界	ターゲット大企業	対象Qの投資件数	対象Qの主要投資内容
製造業界	Siemens	 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>● B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー</li> </ul> : Malta, Skeleton Technologies
	GE	 0件	
	HITACHI	 0件	
	DuPont	 0件	
テクノロジー業界	Google	 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>● A-1. カーボンテック</li> <li>● B-3. クリーン燃料</li> </ul> : Scope3 : Power Solutions Solar
	Microsoft	 5件	
	Stripe	 0件	

# クライメートテック業界の分野一覧（1/3）

大分野	中分野	小分野	小分野定義
<b>A. カーボン&amp;エミッションテック</b>  二酸化炭素含む温室効果ガス排出の削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	<b>A-1. カーボンテック</b>  二酸化炭素の回収・貯留（CCS）および炭素の利用（CCU）に関連する技術・サービスや企業向け/個人向けに二酸化炭素排出のトラッキング・削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	1. ダイレクト・エア・キャプチャー（DAC）	大気中から二酸化炭素を直接集め回収する技術・サービスを提供する企業
		2. ポイントソースカーボンキャプチャー	工場等の大規模な排出源から二酸化炭素を集め回収する技術・サービスを提供する企業
		3. 生物的炭素除去	樹木・土壌・水生環境に炭素を貯蔵する技術・サービスを提供する企業
		4. カーボン・キャプチャー・ユーティライゼーション（CCU）	回収した炭素を付加価値のある製品に転換する技術・サービスを提供する企業
		5. 炭素会計・分析	温室効果ガスの排出量を追跡・分析するデータプラットフォームを提供する企業
		6. カーボンフィンテック	気候変動に重点を置いたフィンテック・SaaS・インターネットバンキングサービス等を提供する企業
	<b>A-2. 産業系技術</b>  リサイクルを含む製造業の各プロセスにおいて、環境配慮型の素材生産や製品製造での効率的なエネルギー利用・二酸化炭素排出削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	7. 素材・製造プロセス	素材製造・製品製造プロセスにおける二酸化炭素削減を支援する技術・サービスを提供する企業
		8. グリーンマイニング	鉱業プロセスの自動化・探鉱・歩留まり改善を支援する技術・サービスを提供する企業
		9. リチウムイオン電池リサイクル	リチウムイオン電池の効率的なリサイクル技術・サービスを提供する企業
		10. 金属リサイクル	金属のリサイクル技術・サービスを提供する企業
		11. 繊維・ポリマーリサイクル	繊維・ポリマーのリサイクル技術・サービスを提供する企業
		12. リサイクル関連分析技術	リサイクルプロセスにおけるデータ分析や廃棄物管理プラットフォームサービスを提供する企業

# クライメートテック業界の分野一覧 (2/3)

大分野	中分野	小分野	小分野定義
<b>A. カーボン&amp;エミッションテック</b>  二酸化炭素含む温室効果ガス排出の削減に寄与する技術・サービスを提供する企業	<b>A-3. 構築環境</b>  建物や生活インフラの建設時、およびそれらの使用時における環境負荷の低減・エネルギー利用の効率化に関連する技術・サービスを提供する企業	13. グリーン建築	建築物における計画・設計・建設・運用・メンテナンス・改修・解体の各プロセスに関連し、二酸化炭素の排出を削減する技術・サービスを提供する企業
		14. 建築物エネルギー効率化	住宅・商業用建築物のエネルギー利用の管理・効率化を行う技術・サービスを提供する企業
		15. 冷暖房	建築物における冷暖房や空調管理の技術・サービスを提供する企業
		16. 水利用・管理	スマート灌漑・廃水処理・水質浄化などの水利用・管理の技術・サービスを提供する企業
	<b>A-4. 環境データベース</b>  生態系の保全、気候や地球のモニタリングのためのデータを収集・公開するための技術・サービスを提供する企業	17. 気候・地球環境データ	気候データや地球環境データを収集・公開するサービスを提供する企業
		18. エコシステム保全・モニタリング	生物多様性を含むエコシステムのモニタリングや、エコシステム保全のためのプロジェクト実施を行う企業

# クライメートテック業界の分野一覧 (3/3)

大分野	中分野	小分野	小分野定義	
<b>B. クリーンエネルギー</b>  環境負荷の小さいエネルギー源やエネルギー利用のためのインフラに関する技術・サービスを提供する企業	<b>B-1. 再生可能エネルギー（間欠性）</b>  再生可能エネルギーのうち、自然の状況に応じて出力が変動するもの（風力・太陽光・太陽熱）に関する技術・サービスを提供する企業	19. 風力	風力発電に関する技術・サービスを提供する企業	
		20. 太陽光	太陽光発電に関する技術・サービスを提供する企業	
		21. 太陽熱	太陽熱発電に関する技術・サービスを提供する企業	
	<b>B-2. 再生可能エネルギー（安定性） ・核エネルギー</b>  再生可能エネルギーのうち出力が安定しているものや（地熱・水力）、核分裂/融合などの環境負荷の小さいエネルギーに関する技術・サービスを提供する企業	<b>B-2. 再生可能エネルギー（安定性） ・核エネルギー</b>	22. 核分裂	核分裂（重い原子核が複数の原子核に分裂する現象）エネルギーに関連する技術・サービスを提供する企業
			23. 核融合	核融合（複数の軽い原子核が融合し重い原子となる現象）エネルギーに関連する技術・サービスを提供する企業
			24. 地熱	地熱エネルギーに関連する技術・サービスを提供する企業
			25. 水力	水力エネルギーに関連する技術・サービスを提供する企業
	<b>B-3. クリーン燃料</b>  既存の燃料と比較して環境負荷の小さい燃料や、環境負荷の小さいグリーン/ブルー水素に関する技術・サービスを提供する企業	<b>B-3. クリーン燃料</b>	26. 水素	グリーンやブルー水素の技術・サービスを提供する企業
			27. 既存燃料のクリーン化	既存型の燃料の成分や製造方法を改善し、環境影響を低減する技術・サービスを提供する企業
			28. バイオ燃料	バイオマス（生物資源）燃料の技術・サービスを提供する企業
			29. 廃棄物のエネルギー・燃料利用	廃棄物をエネルギーや燃料として利用するための技術・サービスを提供する企業
	<b>B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー</b>  蓄電池や電気以外の形（例：蓄熱や位置エネルギー）でのエネルギー貯蔵や、エネルギー伝達（例：送配電網）に関する技術・サービスを提供する企業	<b>B-4. 蓄エネルギー・送エネルギー</b>	30. 蓄電池	リチウムイオン電池や次世代蓄電池の技術・サービスを提供する企業
			31. 蓄電池以外のエネルギー貯蔵	蓄電池以外の、機械的・化学的・熱的なエネルギー貯蔵の技術・サービスを提供する企業
32. 送配電インフラ分析・管理			送配電インフラの効率的な利用のためのデータ分析や再生可能エネルギー源管理の技術・サービスを提供する企業	

# お問い合わせ先

- サービスサイトURL  
<https://da-sweep.com/>
- お問い合わせ先メールアドレス  
[sweep@dots-and.com](mailto:sweep@dots-and.com)
- 運営会社  
dots. and株式会社  
<https://dots-and.com/>

***SWEEP***

